

# JAしまねびより 8

2017

August Vol.17

特集 島根のいいもの再発見!! 「トルコギキョウ」 やすぎ地区本部

来月の外勤日は **9月16日(土)**



Naomichi  
直 2017 夏



島根には誇れる農産品がたーっくさん！  
**島根のいいもの再発見!!**  
直撃・生産者インタビュー！



## 【トルコギキョウ】

8月はやすぎ地区本部。安来市広瀬町でトルコギキョウを生産する、やすぎ花卉（かき）部会長の小池隼己（こいけはやみ）さんに話をお伺いしてきました。

トルコギキョウは、島根県では菊と同様に県内各地で栽培されている品目。なかでも安来市では盛んに栽培されています。取材にお伺いした小池さんの畑では出荷時期を迎え、作業の真っ只中でした。



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。  
毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

### トルコギキョウの栽培を始めた経緯を教えてください。

9年前までは営業職のサラリーマンをしていました。曾祖母の時代から菊などを作っており、花の栽培は身近な存在でした。花は好きで会社員時代から、ちょっとしたつかいものによく利用しており、贈った方に大変喜ばれていました。9年前に専業として花卉の生産に従事することを決意。始めた時に、普及員の方に安来市でトルコギキョウの栽培が10数年前から積極的に行なわれていることを教えて頂き、菊の栽培と並行してトルコギキョウの栽培も始めました。現在はトルコギキョウのほかケイトウやストックなど数品目の花と合わせ、ハウス15棟と露地で、年間6万本



の花を出荷しています。



トルコギキョウの栽培はどのように行っているのですか？

トルコギキョウは花が数輪開花している状態で出荷します。露地では雨に当たると花弁が痛んだりすることがあるのでハウス栽培です。種は非常に小さく育苗が難しいので、苗を植えて育てます。4月頃から7月頃まで時期をずらしながら植え付けを行い、お盆や秋のお彼岸、ブライダルシーズンなどの需要期に出荷のピークを合わせています。ハウスの中で5列程度に植え付け、生育状況にあわせて水やりの量を調整しながらフラワーネットの花を直立させて大きくしていきます。品種に



もよりますが、60センチ以上の高さがあり、1つの花につき2つ程度のつぼみがあるのが基本。1本の茎に5〜7輪、開花している花があるなど、なるべくたくさん花とつぼみが付くよう調整しています。



**栽培していて大変なことは何ですか？**

ハウスで苗を植える前の準備として、フラワーネットを張り巡らせるための鉄の杭を



打つ作業が労力を要します。生育に合わせてネットを上に移動させるため、2メートル間隔で均等に杭を立てています。また、開花した花を食べる虫が付かないよう、日々の観察を徹底して行っています。過去には出荷直前に突然、虫に全部食べられたという経験もあり、細心の注意を払っています。

**トルコギキョウのPRを願います。**

トルコギキョウはバラのように大きく華やかな花形で、



一重咲きのものから八重咲きのものまで、種類や色がたくさんあります。夏場の高温期でも花持ちが良いのが特徴で、仏花をはじめ、結婚式やギフト用の花束、フラワーアレンジメントなど、何の用途でも使える花として大変人気があります。また、「SO八雲小町」など鳥根県のオリジナル品種のSOシリーズが約15品種あります。他の品種にはないオリジナル性の高い花



色や華麗な形、高温期でも日持ちが良く、茎が硬く育つのが特徴で、鳥根発の品種として評価が高いです

**最後に今後の抱負や将来の夢などお聞かせください。**

花を作るプロフェッショナルとして、作付け面積を増やし、一定量をまとめて出荷できる体制をさらに拡充していきたいと考えています。安来市のトルコギキョウは約9割



が関西を中心に県外へ出荷されています。SOシリーズなど強みとなる品種もあるので、継続的に出荷できる量を確保し、大きな市場で安定した価格で取引し続けられるよう努力していきます。個人的に花は大好きなので、65歳になつたら趣味として花の栽培を楽しむ予定です。



## トルコギキョウ 一口メモ

トルコギキョウは北アメリカ原産のリンドウ科の植物。キキョウと名前が付いているが、桔梗（キキョウ）とは関係性がない。日本には昭和10年代に切花用として導入され、現在までにたくさんの品種が改良、新品種が作られてきた。一重咲きや八重咲き、枝分かれして1本の茎にたくさんの花を咲かせるスプレー咲きをはじめとして、色も白・紫・黄色・ピンク・ブルーと多く、近年では全国的にほぼ1年中どこかの地域で出荷されている。鳥根県のオリジナル品種「SO八雲小町」は2009年に国内最大の新品種コンテストである、ジャパンフラワーセレクションで優秀賞を受賞。鳥根県では、ポタン・菊・シクラメン・バラと並んで5大主要品目として積極的な取り組みがなされている。



雲南

## JAの空き施設を使って かかし作り

奥出雲町立馬木小学校（奥出雲町大馬木）は7月13日に、JAの空き施設の大馬木倉庫でかかし作りを行いました。講師役として、地域住民らで構成される「ふるさとティーチャー」から5人が訪れ、3・4年生の児童らが作った設計図をもとに4体のかかしを完成させました。児童らは「お米を守れそうなかかしが作れて良かった」「思い出に残るかかしを作れた」と話しました。

同学校では、各学年で分担して稲の成長を見守る「マキ田くん活動」を行っており、田植えや草取り、かかし作りなどを行い、地域住民との交流や食農教育に取り組んでいます。

12月上旬には、収穫祭を予定しており、各学年が育てた野菜を使った豚汁やおにぎりなどを作り、今年一年の収穫とお世話になった方々に感謝を伝えます。



お米を守るこわいかかしを作る児童ら

くにびき

## 田んぼアート見ごろ 巨大キャラクターが西忌部町に出現

異なる品種の稲を使って巨大な絵を描く「田んぼアート」が見ごろを迎えています。西忌部町の水田では、緑の苗を下地に、山陰ケーブルビジョンのイメージキャラクター「まるっとくん」が浮かび上がっており、道行く人の目を引いています。

この活動は、忌部の豊かな自然を体感してもらおうと、忌部地区流出水対策協議会（松浦久義会長）などが、2012年から毎年企画。5月にはくにびき地区本部乃木支店の職員らも参加して、総勢約100人で古代米7種類ときぬむすめを植えました。

10月にはコメの収穫もひかえており、参加者に精米2キロを配布する予定です。くにびき地区本部運営委員も務める松浦会長は「収穫前まで見ごろは続く。道路からすぐ見える位置にあるので、引き続き多くの人に見てほしい」と話しました。



くっきりと浮かび上がったまるっとくん

隠岐

## 優勝目指し24チーム熱戦

7月15日から17日にかけてJAカップ第34回島根県学童軟式野球選手権大会の松江・隠岐地区予選が、松江市鹿島町の深田運動公園野球場など4会場で開催されました。

隠岐からは「西郷ファイターズ」（選手17人）、「五箇ミラクルズ」（選手11人）の2チームが参加し、熱い戦いを繰り広げました。

7月14日には大会必勝に向けた壮行式が隠岐汽船ターミナル内でおこなわれ、隠岐地区本部徳山茂共済部長から激励の言葉と激励金を贈り、大会での活躍を祈念しました。

優勝は松江市の「乃木ライオンズ」で、隠岐から参加した両チームは健闘しましたが、初戦敗退となりました。

今後とも離島パワーを発揮し、ハツラツとした子供達の姿が見られるよう応援していきます。



壮行式の様子

やすぎ

## 農業サポーター養成基礎研修で トルコギキョウの出荷調製学ば

やすぎ農業サポートセンターはこのほど、安来市穂日島町のやすぎ担い手支援センターで、農業サポーター養成基礎研修として市の特産であるトルコギキョウの出荷調製を行いました。働き手を必要とする農家とサポートしたい働き手を結びつける同センターに登録する、サポーター8人が参加しました。

参加者は県の農業普及員より栽培管理の流れについて学んだ後、やすぎ花卉部会トルコギキョウ専門部会部会長足立昌俊さんの指導のもと、出荷基準のポイントや摘除する蕾の見分け方など出荷調製方法を学び、実際に作業していました。

参加者の1人は「調製作業は見極めが難しかったが、重要な作業なのでしっかりと覚えていきたい」と話しました。





## 斐川

### 瓜の漬物実演講習会開催

斐川地区本部管内の野菜等出荷者協議会は7月19日、同地区本部の料理教室で山根善治本部長を講師に瓜の漬物実演講習会を開き、会員21人が参加しました。

基本的な瓜の漬け方の説明を受けた後に実演講習に移り、瓜の種のとり方や酒粕をつけた瓜の漬物樽への並べ方などを学びました。山根本部長は漬物会社を営んでおり、家業の経験を活かした講習内容に、参加者はメモをとりながら質問するなど真剣に話を聞いていました。

山根本部長は、「漬物は扱いやすく保存しやすいので、今回の講習会で漬物の作り方を覚えてもらい、多くの方にグリーンセンターへ出荷していただくと嬉しい」と期待をこめました。また、参加者からは「家でも漬けているが我流なので、漬物屋さんの漬け方を聞いてよかった」「今回聞いた漬け方で作り、家の味と比べてみたい」といった声が聞かれ、たいへん充実した講習会となりました。



山根本部長から実演講習を受ける参加者

## 隠岐 どうぜん

### 隠岐郡畜産共進会が開催

隠岐島農業協同組合協議会が主催する平成29年度隠岐郡畜産共進会がこのほど、隠岐郡海士町の隠岐神社特設会場で開催されました。

地区予選会で選ばれた1区（子牛の部）17頭、2区（若雌の部）8頭の全25頭が出品され、1区の首席には西ノ島町の川上勲輝さんの出品牛「しげただふく号」、2区の首席には海士町の隠岐潮風ファームの出品牛「かえで号」が選ばれました。また、グランドチャンピオン牛には2区首席の隠岐潮風ファームの出品牛「かえで号」が選ばれました。

当日は、小さな子どもからご年配の方まで多くの方が見に来られ、地域の方がふるまわれた料理を楽しむなど大変賑やかな共進会となりました。

今回選ばれた出品牛は、10月21日に中央家畜市場で開催される島根県種畜共進会に出品される予定です。



グランドチャンピオン牛に選ばれた「かえで号」

## 石見銀山

### シャインマスカット「縁の恵」 市長に贈呈

大田市ぶどう生産組合は7月3日、大田市役所で、シャインマスカット「縁(えにし)の恵」を竹腰創一大田市長と清水克典副市長へ贈呈しました。粒張30ミリのブドウを試食した竹腰市長は「1粒がぎゅっと詰まっている感じ、甘くてとてもおいしい」と感想を話しました。

大田市では、6月28日から「シャインマスカット」の出荷を開始しています。8月下旬頃に最盛期を迎え、9月いっぱいまで流通する予定です。

「縁の恵」は島根県産「シャインマスカット」のプレミアムブランドで、房型、粒揃いが良く、粒張が28ミリ以上の規格。市内では同生産組合の有吉誠志組合長が初めて収穫しました。「1年を通して、手をかけてやらないと、いいブドウに育たない。縁の恵を作るまでに8年かかった」と有吉組合長は話します。

大田市ぶどう生産組合（9戸）は30～50代の若手生産者5人が中心となり、28年に策定した「産地ビジョン」を目標に活動しています。



産地ビジョンのひとつ1億円産地達成に向け  
一致団結している様子

## 出雲

### 家の光編集企画・活用研究会 購読者の意見を反映

出雲地区本部は7月13日、同地区本部会議室で「家の光編集企画・活用研究会」を開きました。家の光購読者からの意見・要望を編集担当に伝え、より良い誌面づくりにつなげてもらうとともに、女性部・JA役職員が新たな家の光の活用方法を検討することを目的に企画。今回で3回目になります。JAしまね出雲女性部、家の光協会、JA職員ら約30人が参加しました。

家の光協会の岩澤信之編集長が誌面へのこだわりや、編集企画などを説明した後、女性部員、JA職員のグループに分かれ、それぞれの視点から意見交換を行いました。岩澤編集長は「家の光は活用してもらって初めて使命が果たせるものだと思います。有効活用されている皆さんからいろいろな意見をいただきたい」と話しました。過去の研究会でも、出された意見が取り入れられ、女性部運動会の特集が組まれた実績があります。



岩澤編集長が家の光について説明



西いわみ

## 飯田健康モデル協議会 健康教室開催

益田市飯田町の専業農家で作る健康管理の会、飯田健康モデル協議会（会長有福良一）は7月4日、同市飯田町飯田公民館と多目品選果施設を会場に5月9日に実施した健康診断の結果報告会と健康教室を開きました。

午前の結果報告会では、益田市健康増進課職員とJA島根厚生連職員が個別に健康診断結果に基づいた指導を行いました。

午後の健康教室では、益田市健康増進課職員が「歯の健康と糖尿病は密接な関係にあります。80歳になっても20本の歯が維持できるよう管理していきましょう」と話し、歯の健康についての指導を行いました。



島根おおち

## 桜江支店移転オープン

島根おおち地区本部桜江支店は7月3日、江津市が進めている生活利便性向上を目的としたワンストップ型副次拠点整備事業にともない、桜江総合センターへ支店を移転しました。

建物耐震工事や内装工事が5月末に終了し、入居団体が順次入居を進めるなか、JAは7月3日の入居に向けて、土日を使い職員一同で引越し作業を行いました。

桜江総合センターにはJAのほか、江津市桜江支所、島根中央信金、川戸簡易郵便局、桜江商工会、江津市社会福祉協議会、邑智郡森林組合、江津市図書館桜江分館、川戸地域コミュニティ交流センターが入居します。

桜江支店森脇登志夫支店長は「無事に移転ができ安堵している。組合員、地域住民の方にはひとつの場所でさまざまなサービスが受けられるメリットがあり、これを生かして更に支店を利用していただけよう工夫していきたい」と話しました。



本店

## 種子法廃止後も行政支援の継続を 県知事へ要請活動

JALまね、JA島根中央会、県農業振興協会、県農政会議の代表者らは7月18日、県庁で溝口善兵衛知事を訪問し、主要農作物種子法の廃止後も行政が生産者支援に関わっていくよう要請しました。

今国会で同法を廃止する法案が成立。種子の供給不安、遺伝子組み換え作物を推進する外資系企業の参入などが懸念されます。

竹下正幸組合長は「農家からは不安の声があがっている。県と一体となって連携し、農家の生産活動を守りたい」と危機感を語りました。

要請では、気温や土壌など主要農作物の需要動向を踏まえ、地域で普及する品種を選定、普及することや、種子の需要に応じた生産量を確保し、高品質な種子を生産するため、生産に適した地域、圃場を選定することを求めました。

溝口知事は「種子法廃止の付帯決議に、廃止に伴って都道府県の取組みが後退しないようにとある。農家のため、引き続き支援を行う考えを持っている」と話しました。



溝口知事（左）に要請書を渡す竹下組合長（中）と石倉茂美農政会議会長

いわみ中央

## 全職員でボランティア活動

いわみ中央地区本部は7月15日、全職員で地域貢献活動の一環であるボランティア活動を行いました。職員は早朝から、各支店で計画した福祉施設の清掃や旧小学校の草刈りや草取り、海岸清掃、カーブミラーの清掃などの作業を2時間から3時間かけて行いました。

当日は猛暑でしたが、女性部員の皆さんにも協力していただき、職員と一緒にいい汗を流しました。

毎年の取り組みで、地域の理解もあり、作業をしていると「毎年有難うございます。JA職員のおかげで地域の施設がきれいになりました。有りがたいです」とお礼の言葉や飲み物の差し入れなどいただきました。

今後も全職員で行動し、地域に根ざしたJAとして地域貢献活動に継続的に取り組んでまいります。







# 全国和牛能力共進会 鳥根県代表牛が決定

今年9月に宮城県で開かれる第11回全国和牛能力共進会の鳥根県代表牛が決定しました。

同共進会は、全国の優秀な和牛を5年に一度、一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競う全国大会です。優秀な成績を収めることで、しまね和牛ブランドの市場価値が全国的に高まりますので、本番に向けて代表牛の飼養管理を徹底し、好成績を目指します。



2区代表牛「ひらめぐみ号」(西ノ島町 平井信利)

区分	名号	生産者	地区
1区(若雄)	茂華松	鳥根県畜産技術センター育種改良部	県
2区(若雌の1)	ひらめぐみ	平井 信利	隠岐地区
3区(若雌の2)	ゆりかつ	長谷川 隆寿	奥出雲町
4区(系統雌牛群)	ひみせんひめ	足立 年禧	安来地区
	ひみやよい	倉井 公子	安来地区
	ひみはくちょうげ	清山 高康	安来地区
	ひみいくせん	祖田 育夫	安来地区
5区(繁殖雌牛群)	ふくひら1	金倉 弘美	奥出雲町
	ゆりひめ	井上 昭	奥出雲町
	ゆりさつき	福本 成美	奥出雲町
6区(高等登録群)	はなゆり	佐藤 安則	奥出雲町
	しもやすしげ	森 徳行	大田市
	しもしげはな	厚朴 邦広	大田市
7区(総合評価群:種牛群)	しもしげかつ	厚朴 邦広	大田市
	かつしげひめ2	金倉 弘美	奥出雲町
	ふくめぐみ5	(一社)奥出雲町農業公社	奥出雲町
	ひので	遠藤 秀夫	奥出雲町
7区(総合評価群:肉牛群)	ひめさつき	(一社)奥出雲町農業公社	奥出雲町
	福福	J A 仁多肥育センター	奥出雲町
	恵美戸離	(株)隠岐牛企画	隠岐地区
8区(若雄後代検定牛群)	恵福	(農)中国牧場	奥出雲町
	高永照勝	伊藤 誠司	出雲地域
	勝芳	伊藤 誠司	出雲地域
9区(去勢肥育牛)	勝雷	(有)藤増	出雲地域
	糸百合福	(有)かつべ種畜牧場	出雲地域
	福久	(有)藤増	出雲地域

## 鳥根米生産者の皆さまへ

J Aしまねでは、生産者の皆さまの農業所得の向上を第一の使命と考え、28年産米より出荷いただくお米につきまして「委託制度」から「買取制度」に転換いたしました。

J Aが責任を持って買い取りすることにより、早期での一括精算を実施しましたが、29年産米における買取については、より精度の高い買取手法につなげるべく、①「出来秋時出荷いただいた時点」と②「平成29年12月末の追加払い」の2段階による買取金のお支払いとさせていただきます。

### 【追加払いの理由】

8月以降12月にかけて、全国の作付状況や作況、また収穫量が公表され、これらの状況をふまえた需給見通しなどにより販売価格も左右されます。

このことから、より精度の高い買取金をご提示するために2段階によるお支払いにより生産者の皆さまの所得向上と計画的な経営を支援いたします。

これからも、結びつきの強い「鳥根米」の販売を通じて、高評価の確立を目指してまいりますので、29年産米も1袋でも多くJ Aへ出荷いただきますようお願い申し上げます。

[イメージ図:29年産米]







# 茎が球形に膨らみ、 見ても楽しい コーラビ

板木技術士事務所 ● 板木利隆

茎の基部がカブのように球形に膨らむコーラビ。別名を球形カンラン（甘藍＝キャベツ）とも。地中海沿岸地方の原産、葉はカリフラワーに似ていますが、キャベツの原始型ともいわれます。

日本に渡来したのは明治初期と古いのですが、あまり知られていなかったのは食べ方が分からず、和食に合わなかったためようです。

味はブロッコリーの茎の部分に似て、こくがあり、癖がなく、歯応えが良く、適度な甘味もあります。皮をむいて4～5mmの薄切りにし、サラダやあえ物、クリーム煮にしたり、油揚げなどと合わせて煮物にしたりと、アレンジしてみると良いでしょう。ビタミンCはカブの3～4倍、カリウムも豊富で、高血圧を予防し、免疫力を高め、美肌効果も期待できます。生育適温は、15～20度、涼やかな気候を好み、キャベツよりも高温や低温に耐える力があるので、栽培しやすい野菜といえます。

種まきの適期は6月中旬から8月初旬ぐらいまでの夏まきと、9月上旬から10月上旬の秋まきです。

畑は前もって石灰と堆肥を全面にまき、15～20cmの深さによく耕しておき、種まきの前に、条間50cm、くわ幅の溝に、元肥として油かす、化成肥料を1平方m当たり、それぞれ大さじ3杯を施し、軽く覆土して、種子を2～3cm間隔にまき付けます。

発芽したら育つにつれて間引き、最終株間を15～17cmぐらいにします。生育の途中2～3回、化成肥料を追肥しましょう。

3号ポリ鉢に4～5粒まき、育つにつれて間引き1株を残し、本葉4～5枚の苗に仕上げ、プランターに株間15～17cm植えとし、球形に膨らむ様子を見て

楽しむのも良いでしょう。

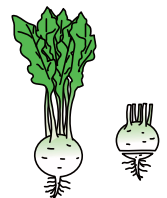
球が4～5cmに肥大した頃、図のように球から横に向かって伸びている葉の葉柄を2～3cm残して切り取り、球の肥大を促します。

収穫は球径が5～6cmに肥大した頃から逐次行います。大きくなり過ぎると肉質が堅くなるので、取り遅れないようにしましょう。

球の下部、根元付近は堅くて食べられないので、1～1.5cmは切り除いてください。収穫物は新聞紙に包んで冷暗所に置けば4～5日ぐらいいは十分持ちます。



球の下部の葉は、葉柄を2～3cm残して切り取る



球の下部1～1.5cmは堅いので切り落とす



緑色と紅色の品種を対にして鉢植えで楽しむのも良い



## タテのカギ



- ① エジプトを流れる大河
- ③ 品物をしまっておく建物
- ⑥ ピカソ、ゴッホ、ルノワール  
といえば
- ⑦ 山伏が吹き鳴らす物
- ⑧ えびす様が持っている道具
- ⑩ 手の指を握り込んで作ります
- ⑭ 立ち上がって膝の——運動をした
- ⑯ 水を入れて植物への水やりに  
使います
- ⑰ 面取りをして落とす物
- ⑱ 首の長い動物
- ⑳ 芋がらともいう食材

## ヨコのカギ



- ① 陰暦9月の異称
- ② 船が停泊するときを下ろします
- ③ 青く晴れ渡るもの
- ④ 口に水を含んでガラガラガラ
- ⑤ 出会った瞬間に落ちることも
- ⑦ リスが餌を詰め込むところ
- ⑨ 漢字で書くと雑魚。取るに足らないもののこと
- ⑪ 量より重視されることもあります
- ⑫ 角度を測るときに使います
- ⑬ 一番近い所。——の駅まで徒歩3分だ
- ⑮ 目で見える範囲のこと
- ⑯ ——外れの花が咲いた
- ⑰ ——を天に任せて勝負した

二重マスの文字を A ~ E の順に並べて  
できる言葉は何でしょうか？

1	6	8			16	19
2				13		
		9	10		17	
	7			14		
3			11			20
4				15	18	
5			12			

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

## 応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒693-8585 出雲市今市町106-1  
JAしまね 出雲地区本部 情報システム課 「クイズ」係  
平成29年9月5日（火）（当日消印有効）

## ◆先月号の答え◆ 「ホウセンカ」

ニ	ユ	ウ	ド	ウ	ケ	モ
	カ	オ		ロ	ン	
ス	リ	ツ	バ		メ	
イ		カ	セ	キ		ロ
カ	ジ	リ	ヨ	カ		ン
	ホ	オ	ウ	ミ		ン
フ	ウ	リ	ン	カ	ザ	

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

## 夏を上手に乗り切るには？

ジメツとした日本の夏、体調を崩す方も多いのではないのでしょうか！?

いわゆる「夏バテ」は自律神経の機能に影響するといわれています。そのため、全身の疲労感、めまい、食欲不振、熱っぽさ、下痢・便秘などの症状を引き起こします。せつかくの夏をそのような状態で過ごしたくないです。そこで！夏バテ防止クイズに挑戦して、暑い夏の対策を考えてみませんか？

問1…汗をかいたときは、水さえしっかり補給しておけば問題ない。

答え…× 汗には水分や塩分とともに、ビタミンやミネラル類が含まれています。汗をかいた後は水分を補給するだけでなく野菜や、果物、海藻類を積極的に摂りましょう。

問2…のどが渇いたときはビールで水分補給してもいい。

答え…× ビールの水分は、アルコールの利尿作用により尿として排泄されてしまいます。水分補給には適しません。濃いお茶やカフェインの多い飲み物も利尿作用で脱水になる可能性もありますので、麦茶やミネラルウォーターのほうがいいですよ。

問3…暑さで食欲がないときは、無理に食べようとせず簡単な食事でもいい。

答え…× 食欲がないからといって食べなければ、体力がどんどん落ちてしまいます。酢やフルーツの酸味・香辛料・香味野菜などを使って食欲を増すよう上手に刺激をあたえて料理に生かすなど、食欲を回復するための調理の工夫をしましょう。

問4…就寝時につけるのは扇風機よりクーラーの方がよい。

答え…○ 扇風機は直接的に体に風が当たることが多いです。直接的に体に風が当たると末端まで冷えてしまいがちです。クーラーを外気温との差を5℃以内にし、風よけをしながら適温で使用する方がよいです。ただし、冷やしすぎに注意し、掛け物や靴下で調節して上手に付き合うようしてみてください。

いかがでしたか？

このように、夏を乗り切る工夫をこらしながら、暑さに負けないから作りをしましょう。



8月



安全・安心届けます  
出雲で採れるうまいもん

# 「シャインマスカット」



## 生産者インタビュー



JAしまね出雲ぶどう部会  
伊藤 康浩さん

今月は大社町でシャインマスカットを中心にぶどうを栽培する、JAしまね出雲ぶどう部会の伊藤康浩さんにお話を伺いました。伊藤さんが被っている額にぶどうのマークがついた黒い帽子は、ぶどう部会大社支部で今年作ったものです。青年部のデザインした統一の帽子で結束を強めていきます！

### いつから栽培しておられますか？

平成23年2月に就農し、今年で7年目になります。それまでは県外でサラリーマンをしていました。出雲市の特産ということでもぶどうを選びましたが、実家は非農家だったため、出雲市アグリビジネススクールぶどうチャレンジ講座の研修制度を利用してぶどう栽培を始めました。現在は45アールのハウスでシャインマスカットを中心に、デラウェアやピオーネ、スチューベンやロザリオロッシなども栽培しています。当初はハウスがいろいろなところに点々とありましたが、作業をしやすいするためにまとまったところに移り、一昨年のオフシーズンから今の体制になりました。

——シャインマスカットを栽培していて大変だったこと、良かったことを教えてください。

天候に左右されるといのが大変なところですね。

外観は今が一番良いのに、天候によって糖度が上がりきっていないということもあります。毎年条件が違う中で高品質なものをつくるべくいろいろな工夫が、面白いところでもあり、難しいところでもあります。良かったことは、植物に囲まれながら体を動かすので、仕事をしていて気分がいいことです。また、シャインマスカットは花穂整形や摘粒作業によって自分で房を形作っていくので、思った通りのものができることも嬉しいですね。

### 栽培するうえで心掛けていることはなんですか？

たくさんシャインマスカットを良いタイミングで出荷したいと考えていますが、早く、多く実らせることが木の負担になることもあります。儲けることと、木の能力とのバランスを考えながら栽培するよう心掛けています。

### 今後の目標を教えてください。

できる範囲で規模も広げていながら、高品質化を図っていきたいと思います。手間をかけて品質の高いものを作り、それが良い価格で売れることに農業の喜びを感じます。今ハウスの下に敷いているシートや、シャインマスカットにかけている傘はタイプベフというのですが、光を反射することで光合成を促進するのではということでも試験中です。こういった取り組みも高品質化に繋がることが期待します。

### 最後にシャインマスカットのPRをお願いします。

出雲でシャインマスカットが作られるようになって大分年数が経ちました。大粒系部会、検査部、普及員の方など関係機関の皆さんの努力もあり、徐々に他産地に負けない品質になっていると思います。特に今年は天候に恵まれ、出雲産シャインマスカットは全体的に糖度、粒張りの良い高品質なものができています。まもなく最盛期ですので、ぜひ食べてください。



島根県

※伊藤さんのシャインマスカットは8月3日の品評会で県知事賞など各賞を受賞されました。14ページ「出雲」に掲載しています。ぜひご覧ください。



# シャインマスカットの栽培

J Aしまね出雲地区本部管内でのシャインマスカット栽培は、平成17年から試験的に始まりました。現在は生産者約140人、栽培面積約22ヘクタールで取り組んでおり、デラウエアに次ぐ新たな特産として注目を集めるぶどうです。

シャインマスカットの栽培は、冬に剪定を行い、2月にハウスのビニールを張り、出荷時期に合わせて加温を行います（無加温栽培もあります）。5月にはデラウエア同様、ジベレリン処理を行います。カップ状の容器にジベレリン水溶液を入れ、ぶどうの房をカップの中につけていきます。この処理はぶどうの房ひとつひとつに対して10日から2週間の間隔をあけて2回実施します。外観を良くするために、摘粒や粒並びを揃える作業もあります。その後、病害虫や汚れを防ぐためぶどう一房ごとに袋掛けや傘掛けを行います。すべて手作業で行われるため、おいしいシャインマスカットになるまでにはとても手間がかかります。

今年産の収穫も始まり、現在、糖度18度以上の甘くておいしいシャインマスカットが販売されています。今年度J Aしまね出雲地区本部では、シャインマスカットの出荷量110トンを目指しています。

## ここが POINT

- 選ぶポイント ○  
果皮にみずみずしい張りがあり、色鮮やかで濃いものを選びましょう。粒の大きさがそろっていて、果軸が太く緑色をしているものを選ぶのもポイントです。
- 保存のポイント ○  
保存する場合はポリ袋に入れて野菜室へ。果皮についた白い粉(ブルーム)は鮮度を保つ役割を持つため、食べる直前まで洗い流さないようにしましょう。
- 食べるポイント ○  
ぶどうは房の上の粒から熟し始めるため、房の下より上の粒の方が糖度が高いといわれています。食べるときには下の部分から食べることで、一房食べたときに甘さが均一に感じられます。

# シャインマスカットのおいしいレシピ

## シャインマスカットのワインゼリー



### ＜材料＞[4人分]

- 白ワイン……………150cc
- 水……………100cc
- 砂糖……………40g
- 粉ゼラチン……………5g
- ゼラチン用の水……………大さじ2
- シャインマスカット……………10～12粒

### ＜作り方＞

- ①ワインを小鍋に入れ沸騰させアルコールを飛ばす。
- ②①に水と砂糖をいれ弱火にかけ、よく混ぜ砂糖を溶かす。
- ③ふやかしたゼラチンをレンジで温めて溶かし、②に加え、よく混ぜて溶かす。
- ④シャインマスカットを洗い、よく水けを切る。お好みで縦に半分や1/4に切る。
- ⑤③をボウルに移し、氷水にあて、とろみがつくまで混ぜ、冷ます。
- ⑥シャインマスカットを器に入れ⑤を優しく注ぎ入れる。
- ⑦⑥を冷蔵庫に入れ1～2時間冷やし固めて出来上がり。

## シャインマスカットのカプレーゼ



### ＜材料＞[2人分]

- シャインマスカット……………10粒
- ミニトマト……………4個
- ブルーベリー……………10粒
- モッツアレラチーズ……………1袋分
- 白ワインビネガー……………大さじ1/2
- オリーブオイル……………大さじ2
- 塩……………少々
- 粗挽き黒コショウ……………少々

### ＜作り方＞

- ①シャインマスカットは縦半分に切る。ミニトマトは横半分に切る。ブルーベリーは洗い、水けを切る。
- ②モッツアレラチーズは小さめの一口大に切る。
- ③白ワインビネガー、オリーブオイル、塩、粗挽き黒コショウを混ぜ合わせる。
- ④①②を混ぜ合わせ皿に盛り、③をかけて完成!



平成29年度  
JAしまね  
出雲地区  
本部

# ちびっこ 農業交流スクール



## 開校式

岡田副本部長が「皆さんが普段食べている給食も、材料の多くは農家で作られたものです。初めて見るものがたくさんあると思うので、分からないことは質問をして、農業についてしっかり学んでください」と挨拶しました。



JAしまね出雲地区本部は7月25日、市内の小学生を対象に「ちびっこ農業交流スクール」を開校しました。今年は、4年生から6年生の40人が入学。当初2日間の日程でしたが、大雨洪水警報が発表され、安全を第一に考えた結果、やむなく1日目で閉校となりました。1日という短い間でしたが、スクール生は、農作業体験などを通じて、収穫の喜びや食と農業の大切さを学びました。



## 大社町のJAいずもアグリ開発(株)でパプリカの収穫体験



おいしそう  
パプリカを発見!



生産者さんが  
大切に育てた  
パプリカを  
慎重に収穫

色鮮やかな  
パプリカを  
たくさん  
収穫させて  
もらいました!



途中急な雨に見舞われ、袋詰めまではできませんでしたが、1人3個ずつパプリカを収穫しました。一つはピザ作りのときにトッピングに使います。





佐田町の伊藤牧場での子牛とのふれあいとピザ作り



自分たちでトッピングしたピザを石釜で焼き上げました!

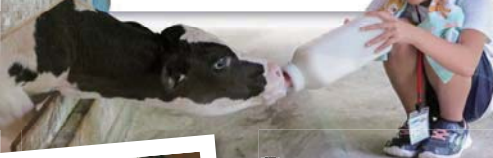
「いただきますの意味について考えてみましょう」伊藤学さんから牛の命についてお話がありました。



あいにくの空模様ですがみんな元気です!



さっき収穫したパプリカをトッピング! 上手にできました!



子牛の心音を聞いたり、ミルクをあげたりしました!



自分たちで作ったピザはとておいしくてたくさん食べました。



「牧場のパン屋さんカウベル」のソフトクリームもおいしかったです!

大雨による中止の決定

ピザ作り体験の後は各農家の方のお宅でホームステイを行う予定でしたが、出雲市に大雨洪水警報が発表されたことから、以降の日程を中止しました。企画総務部の鐘推部長は、経緯の説明に合わせて「安全を第一に考えた結果、やむを得ず中止させていただくことになりました。1日という短い時間でしたが、この経験をきっかけに身近な農業、食べ物に関心を持っていただきたいと思います」と話しました。



閉校式

ちびっこ農業交流スクール



最後にみんなで収穫したパプリカを持って記念撮影。途中大雨もありましたが、40人全員が無事に農業交流スクールを終えました。

ちゃぐりん〇×クイズ



ちゃぐりんを使ってみんなで〇×クイズをしました。



ほっとで楽しいニュースが満載!

## JAかがやく女性交流会 & 家の光大会開催

JAしまね出雲女性部東部地区は7月23日、JA平田中央支店で「JAかがやく女性交流会&家の光大会」を開催しました。日頃の活動を発表し合い部員同士の親睦・交流を深めました。同地区の高橋早苗地区長は冒頭のあいさつで「今年度は女性部員の正組合員化に取り組んでいます。皆さんのご協力をお願いします」と呼びかけました。同女性部では部員の正組合員化について、今年度を重点年度と位置づけています。

大会では、支部活動発表として同女性部鰐淵支部が大正琴を披露しました。「お久しぶりね」と「ああ人生に涙あり」の2曲を演奏し、馴染み深い曲目に会場は盛り上がりました。また、応援発表として、歌や踊りなどの活動をしている女性グループ「彩華だんだん」を招待。1曲ごとに変わる衣装と、さまざまな小道具を使っただけで参加者を楽せました。会場には作品展示コーナーも設け、各支部が作成した手芸作品などの力作が多数並んだほか、加工品や特産品の販売コーナーも設けられました。大会の最後には、出雲弁保存会会長の藤岡大拙氏による講演会が行われました。出雲弁の歴史の説明や、番付仕立てで出雲弁の紹介などがあり、面白おかしい解説に、笑いの絶えない講演会となりました。



東部地区女性部員約200人が参加



彩華だんだんの舞台

## 平田・佐田地区で夏祭り 地域に夏の訪れ告げる

夏の到来を告げる夏祭りが各地で行われ、JA職員も参加し賑わいをみせました。

東部地区では7月22日、「第39回平田まつり・ひらた七夕仮装船行列」が開催され、若手職員を中心に16人が参加しました。今年は、広い世代から愛されたいとの願いを込めて「ポケットモンスター」をモチーフにした仮装船を製作。当日は他の仮装船とともに市街地を練り歩きJAをPRするとともに、沿道の子どもたちにボン菓子や配りながら来場された方々と交流しました。

南部地区ではJA佐田支店が7月29日、ラピタ佐田店の駐車場を本会場とした「JAしまね出雲地区本部佐田支店花火大会」を開催しました。日頃JAをご利用いただいている地域の方々に感謝の気持ちを込めて毎年開催しているもので、ラピタ佐田店、佐田給油所、佐田農機サービス、女性部佐田支部などの協力のもと実施しました。職員がかき氷などの屋台を出店したほか、女性部員が地元の新鮮野菜を使用した夏野菜カレーを販売。ステージでは伝統の須佐太鼓の披露もあり、会場は盛り上がりました。



「ポケットモンスター」の仮装船で参加



伝統の須佐太鼓を披露

## シャインマスカット品評会 島根県知事賞に伊藤康浩さん

JAしまねは8月3日、島根県産シャインマスカット品評会を開催しました。品評会には1房化粧箱の部に12点、5kgダンボールコンテナの部に10点の出品があり、島根県知事賞(1房の部最優秀賞)に伊藤康浩さん、中国四国農政局長賞(5kgの部最優秀賞)に浅津英雄さんが輝きました。

翌4日には出雲大同青果(株)で品評会出品作品の展示競売会があり、県知事賞は昨年を大幅に上回る33万円で競り落とされ会場を沸かせました。ラピタでは受賞した8点のうち出雲地区本部管内から出品された7点すべてを競り落とし、店頭に展示するなどの対応を行いました。

その他の受賞者は以下の通りです。  
1房の部▼島根県農業協同組合長賞 浅津英雄さん(出雲地区本部)▼島根県果樹研究同志会長賞 吾郷均さん(出雲)▼青果市場社長賞 門脇雅宏さん(出雲)

5kgの部▼島根県農業協同組合長賞 前島英樹さん(出雲)▼島根県果樹研究同志会長賞 星野和志さん(雲南)▼青果市場社長賞 伊藤康浩さん(出雲)



受賞したシャインマスカットを掲げる伊藤さん(左)と競り落としたラピタの馬瀬ハイヤー(右)



5日、6日にはぶどう部会女性部による試食販売も



競り落とした受賞作品はラピタ本店に展示



## J Aしまねラピタ農産物直売会 食品衛生講習会開催

J Aしまねラピタ農産物直売会加工部会では、安全・安心な商品を提供するため、会員に食品衛生講習会の受講を義務付けています。今年も6月27日、29日にJ Aしまね出雲地区本部管内計5ヶ所の会場で実施。欠席者への補完として7月18日、19日にも同出雲地区本部で実施しました。

この講習は年に1回、梅雨から夏にかけての食中毒の発生しやすい時期に同会が独自開催しています。島根県出雲保健所と連携して実施し、受講者には同会から1年限りの参加証明書が発行されます。受講しなければ直売コーナーに漬物等の加工品を出品することはできません。講習では営業許可・表示・衛生管理の3点について詳細な説明があり、受講者は改めて出品時のルールを確認するとともに、安全・安心な加工品の出品について意識を高めました。



出雲保健所の講師から説明

## 暮らし続けたい地域づくりへ 出雲市南部地区活性化会議

高齢化等による耕作放棄地の増加や若年層の市街流出が深刻な問題となっている出雲市南部地区の活性化を図ろうと7月15日、J Aしまね出雲地区本部の南部4地区（朝山・乙立・稗原・佐田）の総代長が発起人となり、出雲南部農業活性化に向け行動する会（仮称）を開きました。農業関係者、女性部役員、J A役職員ら約30人が参加。島根大学農林生産学科の江角智也准教授、同高田晋史助教をアドバイザーとして招き、農業・地域の活性化について今後の方向性を協議しました。

第1回となる今回は、J Aの担当者から地区ごとの活性化への具体策の提示や、江角准教授、高田助教からの活性化事例の紹介などがあり、それを受けて今後具体的にすべきことを検討しました。発起人代表の加藤武行南部ブロック総代長は「どういった地域資源に価値があるのか、どう活用すれば活性化に繋がるのかを専門家の目を見て助言してもらいたい。この会から南部地区の活性化につながる具体案が出ることを期待します」と話しました。



挨拶をする加藤総代長

## つや姫栽培講習会開催 ブランド化へ栽培管理を徹底

J Aしまね出雲地区本部は6月13日と6月28日につや姫栽培講習会を開催しました。栽培管理の徹底と技術向上を図ることで、島根県産つや姫のブランド化を進めることを目的として実施しているものです。つや姫を栽培している生産者に案内をし、出雲地区本部管内の5ヶ所の展示圃（サンプルとなる水田）で生育調査とあわせて実施しました。

肥料メーカー4社の協力を得て、事前に草丈や茎数、葉色、幼穂の長さを調査し、講習会に参加した生産者に今年の生育状況を周知するとともに、穂肥の散布時期や、出穂後の水管理について説明しました。



展示圃での生育調査の様子

## 高齢者福祉施設へデラウェアを贈る J Aしまね出雲青年連盟大社支部

J Aしまね出雲青年連盟大社支部は7月7日、大社町にある5つの高齢者福祉施設の利用者の方へデラウェアを贈りました。地元のデラウェアを食べて元気に過ごしていただきたいと毎年行っています。同支部のメンバーが2人1組の5班に分かれ、各施設を訪問。合計で2キロ箱（M規格）17箱を贈りました。

金築一成支部長は「今年もおいしいぶどうができました。皆さんで食べてください」と話し、利用者の方へデラウェアを手渡しました。



デラウェアを贈る金築支部長



## 新規就農者交流会開催 バスツアーで圃場見学

新規就農者同士の交流の場を設け、情報交換等を通じて農業経営者としての資質向上を図ろうと7月21日、平成29年度出雲市新規就農者交流会が開かれました。

平成28年度に第1回が開催され、今回が2回目。今回は認定農業者等をアドバイザーとして意見交換を行いました。その際の要望もあり、今回は新規就農者の圃場・施設等を見学するバスツアーが企画されました。市内で平成24年から平成29年に就農された新規就農者、研修生に案内をし、当日は12人が交流会に参加。島根県東部農林振興センター、JAしまねの職員をアドバイザー、出雲市農業支援センターを事務局として、約30人で新規就農者4人の圃場・施設等を見学しました。

平田地域で柿を栽培する小松正嗣さんの出荷調整施設では、施設整備に至るまでの経緯などについて説明がありました。質疑応答では、他の農産物を栽培する新規就農者から柿の作業内容について質問があるなど、作目の垣根を越えて積極的に情報交換が行われました。



施設の説明をする小松さん

## 「美味しまね認証」模擬検査 農家の協力を得てJA職員が研修

JAしまね出雲地区本部は7月4日、島根県知事が安全でおいしい産品を認証する「美味しまね認証」の模擬検査を行いました。島根県農業協同組合いずも青ネギ部会の稲田三津男部会長の協力を得て、同地区本部の営農センター長、GAP推進リーダー、部会担当者ら約30人が同認証取得の具体的な手順を学びました。

模擬検査はJA職員らが審査項目について質問し、稲田部会長が回答する方式で実施。稲田部会長は同認証を取得しているJAしまねエコネギ研究会県認証グループの一員です。検査は帳簿の確認を中心に行われ、農薬保管庫の確認などの現場確認も行いました。稲田部会長は「設備等を基準に適合させるために当初は苦労もありましたが、整備ができれば通常業務を記帳するだけです」と説明しました。

同地区本部では、同認証の団体取得を目指す部会等を支援できるよう体制整備を進めています。9月末を目途に各部会が同認証の団体取得に対してどのような方針を採るかを確認し、具体的な取り組みを行う予定としています。



稲田部会長の回答を真剣に聞くJA職員ら

## 甘くて みずみずしいプラム たいしゃ保育園児が収穫体験

JAしまね出雲複合果樹研究会は7月12日、金築勝利会長が管理する園地で保育園児を対象にした「いずもプラム」の収穫体験イベントを開きました。このイベントは「いずもプラム」の認知度向上と子どもたちに収穫の喜びを感じてもらうことを目的に平成21年から毎年実施しているもので、今年もたいしゃ保育園の園児24人を招待しました。

園児たちは金築会長からプラムが実るまでの様子を聞いたあと、研究会メンバーの手を借り収穫を体験。甘酸っぱい香りを感じながら、大玉で果汁の多さが特徴のプラム「貴陽」の収穫を楽しみました。採れたての「いずもプラム」を試食した園児は「甘くておいしい。もっと食べたい」と大喜びでした。金築会長は「出雲においしいプラムがあることを多くの方に知ってもらいたいです。今後も甘くておいしいプラムを作っていきたいと思えます」と話しました。



プラムの収穫を楽しむ園児

## 荒木幼稚園児が ぶどうの収穫を体験

出雲市立荒木幼稚園は7月14日、大社町にある手銭栄二さんのぶどう園でデラウェアの収穫体験を行いました。このイベントは今年で7年目を迎え、JAバンク協調型事業を活用した食農教育活動として、JAしまね出雲青年連盟大社支部が企画したものです。園児はぶどうの花の開花から果実が成熟するまでの観察を続けてきており、当日は園児15人が収穫体験を楽しみました。

園児は手銭さんからデラウェアの美味しい食べ方を聞き、園内を観察したあと、農青連のメンバーと一緒に二人一組で大きく成長したデラウェアを収穫しました。収穫後にデラウェアを試食した園児は「甘くて美味しかったです」と嬉しそうに話しました。

手銭さんは「デラウェアの成長過程や収穫体験を通して、もっと地元産の農産物に親しみや関心を持ってもらえたら嬉しい」と話しました。



デラウェアを収穫する園児



## J Aしまね出雲しいたけ部会 「美味しまね認証」研修会開催

J Aしまね出雲しいたけ部会は7月19日、県の認証制度「美味しまね認証」の団体認証取得に向けて研修会を開きました。J Aしまね出雲地区本部管内のブロックごとに5ヶ所のハウスで実施。各ブロックの生産者が集まり、島根県東部農林振興センターの職員らから認証取得にあたって取り組むべきことや、検査のポイントなどについて説明を受けました。

当日は会場となったハウスの設備・備品を確認しながら、現場確認時の質疑応答がどのように行われるか、どう対応すべきかを説明。説明にあたった県職員は「団体認証取得に向けて、産地のルールを話し合ってもらいたい。検査時にはルールに従って整備しているという説明ができるようにしてください」と話しました。

同部会は、平成29年度の事業計画に同認証の団体認証取得に向けた内容把握と取り組み強化を掲げています。今後はJ Aしまね出雲地区本部の部会事務局と生産工程管理や衛生管理などのルールを作成・文書化し、体制整備を進めていく予定です。



施設を確認しながらポイントを説明

## スイートコーン祭りを開催 まき営農組合

まき営農組合は7月22日と23日の両日、出雲市馬木町でスイートコーン祭りを開きました。同組合で栽培する甘くておいしいスイートコーンを多くの人に知ってもらおうと毎年開催しており、会場は朝採りした新鮮なスイートコーンを求める多くの人で賑わいました。

この日は早朝から収穫した約8,000本を用意。試食も用意され、甘さ、おいしさを確認した来場者は、次々とスイートコーンを買求めました。去年は長蛇の列ができて長時間お待たせする場面もありましたが、今年は事前に問い合わせがあった人についてはあらかじめ準備し配達するなどお客さんに負担をかけないように対応しました。会場では小学生以下の子どもを対象とした収穫体験も企画され、スイートコーンが栽培される様子を学びながら親子で収穫を楽しみました。

同組合の小村孝営農部長はこれからについて「一緒に販売する仲間も増えており、将来も希望がもてます」と話しました。また、松田豊組合長は「例年通り多くのお客さんに来ていただき喜んでいきます。たくさんの方に収穫体験もしていただきましたが、子どもたちが学校でも農業を学んでいる様子がうかがえ嬉しかったです」と話しました。



新鮮なスイートコーンを販売

## 有機トマト栽培による交流会 石見銀山女性部と

J Aしまね出雲女性部園支部は7月10日、出雲市外園町においてJ Aしまね石見銀山女性部の部員を招き、有機トマト栽培による交流会を開きました。

出雲女性部園支部では同中部地区の錦織文子地区長の指導の下、今年5月に80本のトマト苗を植え、農薬・化学肥料を使用しない有機農法による栽培を行っています。収穫したトマトはケチャップなどの加工品にする予定です。

当日は錦織地区長を講師に、出雲女性部園支部の部員10人と石見銀山女性部の部員41人が栽培方法の留意点や加工の際の注意点についての説明を受けました。

J Aしまねの理事でもある出雲女性部園支部の藤江美由紀さんは「トマトの有機栽培を通して、農業の6次産業化による農産物の販売促進を行うとともに、活動を通じて部員間の仲間づくりを行っていききたい」と話しました。また、石見銀山女性部長の森脇岸江さんは「今回の交流を通して部員みんなが何かをやらなければいけないという気持ちになった」と交流の成果を話しました。



錦織地区長の説明を聞く部員たち

## 第4回稗原マルシェ開催 女性部と大学生による農家レストランも

稗原地区の魅力と農産物のおいしさを地区内外にPRするイベント「第4回稗原マルシェ」が7月4日、稗原交流センターで開催されました。

会場には同地区の各自治会から農産物を満載にした軽トラックが集結。生産者が新鮮で多種多様な農産物を直接販売しました。来場者は売り手との交流も楽しみながら、たくさん農産物を購入していました。また、地場野菜のおいしさをその場で味わってもらおうと、J Aしまね出雲女性部稗原支部が島根大学の大学生とも連携し農家レストランを開店。女性部と大学生は、稗原の農産物をPRできるメニュー考案のために5月頃から試作会を開き、準備してきました。当日は、稗原の特産を盛り込んだ“稗原御前”や、蒟蒻、筍を使った“稗原カレー”、大学生の考案した筍のスイーツなど、試作品の中から厳選されたメニューが並びました。

稗原マルシェ実行委員会の三次眞樹実行委員長は「第4回ということもあり、売り手側も慣れてきて対応もスムーズだったと思います。人気も定着してきており、今後も継続していきたいです」と話しました。



会場は多くの人で賑わった



## 第11回全国和牛能力共進会島根県代表牛選抜 出雲地区本部管内から5頭が代表に

9月7日から11日にかけて開催される第11回全国和牛能力共進会の島根県代表牛の選抜が6月28日、畜産技術センターで行われました。「肉牛の部」では、島根県から8頭が選ばれ、そのうち5頭は出雲地区本部管内の肉牛です。牛の外観や、肥育経過、超音波での肉質診断などを基準に選抜されました。

出雲地区本部管内から代表牛となった5頭は以下の通りです。

出品区	名号	肥育農場名
8区	高永照勝	伊藤誠司
	勝芳	伊藤誠司
	勝雷	(有)藤増
9区	糸百合福	(有)かつべ種畜牧場
	福久	(有)藤増



選抜基準・選抜方法を説明

## 島根県肉牛枝肉 共進会開催 西尾さん出品枝肉が最優秀賞に輝く

平成29年度第1回島根県肉牛枝肉共進会が7月25日、大田市の(株)島根県食肉公社で開催されました。

共進会は肉用牛肥育技術の確立と、しまね和牛の品質向上を目的に開催されています。今回は県内の17農場から25頭の出品があり、最優秀賞の島根県知事賞に西尾功逸さん出品の枝肉が選ばれました。表彰式では後継者の西尾功夫さんに溝口善兵衛島根県知事から賞状とトロフィーが授与されました。

このほか、出雲地区本部管内からは(有)藤増がロース芯面積の大きい枝肉に与えられるロース芯賞を受賞しています。



溝口県知事から賞状、トロフィーを受け取る西尾功夫さんと受賞した枝肉

いずもJA  
シニア女子大学  
～みずき～

## 7月講座 「エコ活動・メイクアップ術講座」



三角形のおしゃれな手袋を女子大学生みんながつくりました



会場には着物をリメイクした服やおしゃれな農作業着が展示されました

JAしまね出雲女性部は7月26日、いずもJAシニア女子大学の7月講座を開きました。日本メイクアップ技術検定協会の福谷美峰さんを講師に招きメイクアップについて学んだほか、エコ活動として端切れを使っておしゃれな手袋づくりに挑戦しました。

メイクアップ術講座では福谷さんが女子大学生をモデルにファンデーションのつけ方や眉毛の描き方を実演。顔の半分だけをメイクして、左右の対比で分かりやすく説明しました。(もちろん最後は全体をきれいにメイクされましたよ!)モデルとして協力した女子大学生は「はじめて聞くこともたくさんあり、参考になりました。ファンデーションの下地づくりなども違ったやり方をしていたので、教わったことを実践していきたいです」と話しました。

その後休憩を挟んで、端切れを使った手袋づくりをしました。三角形の面白い形をした手袋で、日本農業新聞で紹介されていたものです。



間近で熱心に話を聞く女子大学生たち



# 俳句の広場

選者  
安食 彰彦先生

## ◆月間最優秀賞

泣き声も混じりて子等の庭花火

稲岡町 小豆澤 典子

### 選者評

「てぼたんをぼくにもさせて」と泣きじゃくる小さい弟。お兄さん、お姉さんと両親との家庭の楽しい団欒の風景。いいですね。

## ◆月間優秀賞

神職のきりりと締むる夏袴

下古志町 弥生

病棟の夜の静寂や遠花火

稲岡町 小豆澤 功

河鹿鳴く峡に風化の摩崖仏

平田町 川瀬 清子

あなたの俳句を募集します

### ◆応募方法

俳句、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキまたはFAXでご応募ください。  
※お一人様3句までご応募いただけます。  
※8月応募分の締め切りは8/31(木)必着です。

### ◆あて先

〒693-18585 出雲市今市町106-11  
JAしまね出雲地区本部「俳句の広場」係  
FAX:2116249

※応募作品は自作で未発表のものに限ります。  
※応募作品の一切の権利は、JAしまね出雲地区本部に帰属するものとします。  
※月間最優秀賞にはUFJニコス券3,000円分、月間優秀賞にはUFJニコス券1,000円分を進呈いたします。  
※受賞作品については地区名、氏名(または俳号)を掲載します。

## 健康ライフかわら版

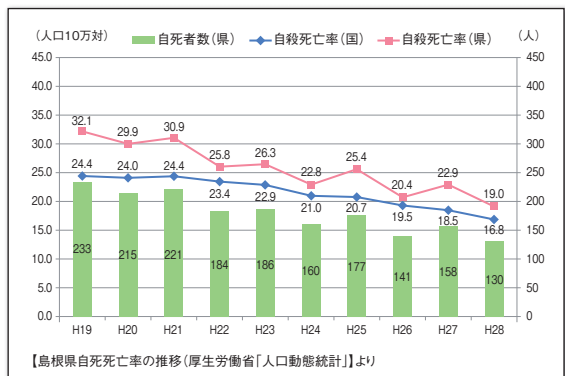
### ストレスと上手に付き合いよう

島根県の自死者数は、平成8年から平成21年まで毎年200人を超え、死亡率では、全国ワースト10に入る自死の多い県です。近年、減少傾向にはありますが、依然として、年間145人前後の自死が発生しています(右図)。

自死に至った要因で多いのが、うつ病等のこころの病気だと言われていています。そのこころの病気は、人間関係や生活環境等、様々なストレスが引き金となって起こります。

#### 身近なストレス解消法をもとう

適度なストレスは、意欲や集中力を生み出し、私たちの生活に刺激を与えます。しかし、過剰なストレスは、自律神経の動きを乱し心身の不調を引き起こします。ストレスが蓄積されないよう、自分に合った方法でストレスを発散しながら上手に付き合いましょう。



#### ストレス解消法の一例

##### ★リラクゼーション

- ぬるめのお湯で入浴
- アロマセラピー
- 就寝前のカフェイン、アルコールの摂取を控える
- 腹式呼吸

##### ★運動

- ウォーキングや水泳等の有酸素運動を行う
- 昼休みや寝る前等にストレッチで体をほぐす
- 一緒に運動できる仲間を見つける

##### ★趣味

- 旅行
- カラオケ
- 料理

普段から  
自分のこころの状態を  
把握しておくことも  
大切です。

出雲保健所では、心の健康相談を  
随時受け付けています。  
お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先 出雲保健所心の健康支援課 ☎21-1653





出雲市佐田町  
いたがき あき お  
板垣 昭男さん (83歳)  
さち  
佐知さん (79歳)



佐田町で農業を営む板垣さんご夫婦。43アールの田んぼで水稲栽培を行うほか、アスパラガスを中心にいろいろな野菜を栽培しています。アスパラガスは主に共選で出荷し、その他はラピタ佐田店の直売所で販売しています。

ご夫婦がアスパラガス栽培を始めたのは17年前。現在は18アールで露地栽培をしています。見る間に伸びるアスパラガスは、朝夕2回の収穫は欠かせません。昭男さんは「この辺りの山の方は涼しく温度差もあるので、特に夏芽(7~9月頃に収穫されるアスパラガス)は良いものができます」と佐田町のアスパラガスに自信を見せます。佐知さんはJAで行っている大阪の百貨店での販売促進にも生産者として毎年同行するなど、アスパラガス部会の活動に積極的に参加しています。昨年は部会女性部の視察旅行で九州にも行きました。佐知さんは「農作業が忙しく趣味の時間はなかなかありませんが、毎年この旅行を楽しみにしています」と話します。

農作業の落ち着く冬場も大雪への対応などでなかなか予定通りにはいかないそうですが、「時間が取れば一緒に旅行に行きたいです」と話す仲の良いご夫婦です。



Smile  
さらりスマイル

矢野町にお住まいの濱村 亜悠子さんは、地元のコミュニティセンターに勤務しています。主婦として家事、育児に専念していましたが、昨年7月に今の職場に就職しました。電話や来客対応のほか、地域団体の事務局として文書やチラシの作成などを担当しています。

2人のお子さんがおられる亜悠子さん。これから子どもたちが育っていく地で、地域の皆さんと関わりながら仕事ができることにやりがいを感じています。亜悠子さんは「まだ分からないこともたくさんある中で、地元の方にいつも助けていただき本当にありがたく思っています」と話します。地域のために頑張っておられる方々に、尊敬と感謝の気持ちを持ちながら仕事をしています。

今後の目標を尋ねると「地域活動に参加される若い人が少ないように感じています。若い人たちにももっと積極的に参加してもらえるよう、サポートしていきたいです」と地域の未来を考えながら話す亜悠子さんです。

出雲市 矢野町

濱村

亜悠子さん (32歳)



## 7月講座「歌うお医者さんに聞く! 脳と体を元気にする方法」

JALまね出雲地区本部は7月8日、いずもJA女子大学7月講座「歌うお医者さんに聞く!脳と体を元気にする方法」を開きました。三瓶・池田診療所の所長である長坂行博先生を講師に招き、脳を健康に保つ方法やストレスへの対処法などを学びました。

長坂先生は、「知的好奇心を持ち続けること、適度な運動をすること、楽しいコミュニケーションをとることが脳を健康に保つ」と説明。『楽しい』感情が健康につながるため、趣味や運動は楽しく無理のない範囲で『続ける』ことが大事だと呼びかけました。また、現代社会ではストレスがなくなることはないので、「少し発想の転換をして『ものは考え様』というポジティブな考え方を

身に付けてほしい」と伝えました。講座の終わりには、長坂先生にギター&ハーモニカの生演奏とともにオリジナル曲を歌っていただき、心身ともに癒される時間となりました。



女子大学生は「自分の心や体の状態を改めて見つめ直す時間になりました。演奏がとても居心地良かったです」と話しました。



わが家の  
アイドル

わが家自慢の  
アイドルをご紹介します!



かわかみ み う 川上 実優ちゃん(9歳・中央) ころ 心優ちゃん(7歳・右後)  
れん 蓮くん(4歳・左) ゆい 優衣ちゃん(3歳・右前)

出雲市大社町

小学3年生の実優ちゃんは体を動かすことが大好き。虫取りや魚取りをして遊ぶ活発な女の子です。体操教室にも通っています。次女の心優ちゃんは小学1年生。ピアノを習っています。よくお父さん、お母さんのお手伝いをしてくれるしっかりものです。蓮くんは元気いっぱいの子。いつもお姉ちゃんたちの真似をしています。体操をしている実優ちゃんの真似をして、壁逆立ちにも挑戦。今では1人でできるようになりました。おっとりしている末っ子の優衣ちゃんは家族みんなのアイドル的な存在。お兄ちゃん、お姉ちゃんたちにかわいがられています。

この夏はじめにはきょうだい4人でザリガニ取りに連れて行ってもらいました。家の周りではあまり見られない生き物がたくさんいてみんな大喜び! いい思い出ができました。

おとうさん、おかあさんからの一言

毎日が賑やかで楽しいです。これからもきょうだい仲良く元気で大きくなってね。

J Aしまね出雲女性部

グループ紹介

神門支部「エコグループれんこん」

代表 杉原 千恵子 さん

J Aしまね出雲女性部神門支部の「エコグループれんこん」は、古い着物や布団などの布を活用して、クッションやポーチを作ったり、プリン容器から風鈴を作ったりと、捨てるはずだったものを活用したエコ手芸に取り組んでいます。平成24年5月に活動開始。ラピタでのレジ袋廃止などで女性部の皆さんの間にもエコに対する意識が高まったところです。現在メンバーは10人で、毎月第4月曜日にJ A神戸川支店で活動しています。

イベントなどで販売もしています。J A神戸川支店で行われるふれあいまつりでも販売する予定です。また、みどりの郷湖陵で使ってもらうなど、地域福祉にも役立てています。

活動には「家の光」が欠かせません。メンバーが毎月外勤日で「家の光」が配られるのを心待ちにしています、まず開くのは手芸コーナー。面白いと思ったものをメンバー同士で紹介しあいながら作っています。作ったものは自分たちで使うほか、



「家の光」を見ながら活動しています。



7/13にはみどりの郷湖陵にクッションや端切れなどを贈呈しました。

杉原代表より一言

私たち「エコグループれんこん」では、使い古したものをエコ利用しているようなものを作っています。みどりの郷湖陵にお渡ししたときはとても喜んでもらいました。これからも皆さんに喜ばれるような活動をしていきたいと思えます。メンバーも募集中ですので、興味をもたれた方はぜひご参加ください。

石飛ブロック長からの一言

「エコグループれんこん」の皆さんは、「家の光」の手芸コーナーを参考に作品を作られ、神戸川支店の店内に展示されたり、10月のふれあいまつりに展示、販売をされたりと活発に活動をしていただいております。6月の神戸川支店ギャラリーにおいて、それぞれ工夫された手芸品を展示していただき来店された組合員の皆様にとっても楽しんでいただきました。今後も手芸仲間が広がりが沢山の力作をまた展示していただくことを楽しみにお待ちしております。



読者のページ  
おたより広場

読者のみなさんからの投稿コーナーです。最近あった「楽しかったこと」「最近思うこと」「感動したこと」…ぜひお聞かせください。写真や絵手紙・イラストも大募集！！

おたより大募集

皆さまからの「おたより」を募集しております。ハガキに、聞いて欲しいこと、日々思うこと、俳句や川柳、絵手紙や写真などのご投稿お待ちしております。

(匿名希望の方は明記してください)

〒693-8585  
出雲市今市町106番地1  
JAしまね出雲地区本部内  
「広報誌JAしまねびより」編集係 宛  
✉メールでの投稿也大歓迎!  
unity@jaizumo.or.jp

あて先

●宅配とお店で買ったものと、年中牛乳を良く飲んで不足しがちなカルシウムを摂取しています。先日は甥っ子が中酪へ牛乳の製造を見学に行ったそうです。うちは皆が牛乳を良く飲んでいますよ。牛乳を飲んで暑い夏を乗り切ろうと思いません。

(湖陵町 I・Aさん)

JA：きつと毎日給食で牛乳を飲んでおられると思いますので、牛乳の製造工程には興味津々だったのではないのでしょうか。私も牛乳を毎日飲んでます。カルシウムも摂取できますし、美味しいですね！

●先日は大社支店の納涼まつりが

ありました。」

A女性部は野菜、シフォンケーキ、せんべい、米粉パン、枝豆などの販売。一時間くらいで完売しました。賑やかな市でした。ステージは南京玉すだれ、出雲阿国、ジージーズの生バンド、保育園

児ダンス、皆さん一生懸命でした。最高に盛り上がったのは大抽選会。皆さんおつかれ様でした。

(大社町 M・Aさん)

JA：JA大社支店の納涼祭りへのご参加ありがとうございます。毎年賑やかに開催され、ステージも充実していますよね。各地で夏祭りの開催される時期です。積極的にいろいろなお祭りに参加していきたいと思えます！

●毎年お盆前に、広島の知り合いにラピタのお中元(果物)を贈っています。今年は珍しくて喜ばれると思いい、シャインマスカットを贈るつもりです。

(多久町 M・Hさん)

JA：ラピタをご利用いただきありがとうございます。今月号の「出雲で採れるうまいもん」でも紹介させていたれています。いよいよシャインマスカットのシーズンです。見た目にも美しく、美味しいシャインマスカットはきっと喜ばれると思えますよ。

●「出雲コーチン」復活は誠に喜ばしいことです。順調に飼育されて地鶏のブランド化を期待しています。出雲農林高校の生徒さんを応援します。頑張ってください。

(武志町 U・Mさん)

JA：農林高校の生徒さんの熱意が「出雲コーチン」の復活につながったこと、本当に素晴らしいことだと思えます。どんな味がするのでしょうか。ブランド化に期待ですね。

【訂正とお詫び】

7月号のP16、「出雲で採れるうまいもん」の記事に誤りがありました。訂正し、お詫び申し上げます。

誤：佐田町で「ホルスタイン」を70頭飼育する〜川上哲也さんに

正：高松町で「ホルスタイン」を70頭飼育する〜川上哲也さんに

グリーンセンターからのお知らせ

グリーンセンター全店では、8月25日(金)から29日(火)まで、水稻収穫前のフェアを開催致します。稲刈りに必要な農業資材や刈跡の除草剤等多数準備し皆様のお越しをお待ちしております。尚、期間中現金にてお買い上げ頂いた方には、おさいふカードポイント5倍です。

是非この機会にお買い求め頂きます様ご案内申し上げます。



期間中現金にてお買い上げ頂いた方

おさいふカード ポイント 5倍!





土地

建物

# 売買相談受付中

## 島根県農業協同組合 出雲地区本部 不動産相談センター

免許番号  
島根県知事(1)第1243号

出雲市今市町106番地1

お問い合わせ先

☎0853-21-6024

建物

土地



### 出雲地区本部理事会報告

7月21日に開催された出雲地区本部理事会の中で協議された主な議題と内容は次の通りです。

#### 〈協議事項〉

- (1)大口貸出先の承認について
- (2)総代選挙にかかる「投票票管理者・立会人」の選任について  
今年度はJA総代改選の年です。  
(現総代任期:9月30日まで)
- (3)大豆施設利用要項の改正について
- (4)有協同不動産の今後について
- (5)平成30年度職員(正職員)高卒採用募集について
- (6)平成30年度職員(正職員)新卒採用二次募集について
- (7)平成30年度職員(正職員)中途採用募集について
- (8)平成29年度職員(嘱託職員)中途採用募集について
- (9)ラピタ本店空調設備の更新について

#### 〈報告事項〉

- (1)大口貸出先の決算報告について
- (2)平成29年6月末事業実績について  
第一次四半期が終了し、組合員の皆様のご協力、ご利用により計画通り推移しています。

- (3)平成29年度総代会開催報告について  
ブロック別総代説明会(6月11日~18日)、JALまね通常総代会(6月25日)で、総代の皆様から頂戴したご意見については、今後の事業運営に反映させていただきます。
- (4)正組合員加入促進運動6月末運動実績について  
今年度から取り組んでいる「正組合員加入促進運動」において、4月からの3ヵ月間で、98名の方が正組合員となっていただきました。(新加入19名、資格変更79名)
- (5)平成29年度役職員増資運動について  
JA役職員としての意識向上と自己資本増強を目的とし、役職及び経験年数に応じた目標額を設定して増資運動に毎年取り組んでいます。
- (6)平成29年度家の光長期愛読者拡大運動について  
8月19日~10月31日の間、「家の光長期愛読者拡大運動」を展開します。是非この間に購読申し込みをお願いします。



## 理事会情報 (6月30日開催)

### 協議事項

- ① JAしまね農業振興支援事業「平成29年度島根農業モデル対策支援事業要領」の一部改正について
- ② 平成29年度JAしまね農業振興支援事業第1回(6月)申請について
- ③ 「主要農産物種子法」廃止に伴う県知事への要請について
- ④ 信用事業方法書(為替取引)の一部改正について
- ⑤ 第3事業年度業務報告書及び連結業務報告書の作成について
- ⑥ JAしまねディスタクロージャー誌2017の作成について
- ⑦ 総合ポイント制度における総合ステージの効果検証と今後の実施判断について
- ⑧ JAしまね自己改革PR冊子の作成および活用について
- ⑨ 常務理事の担当業務について
- ⑩ 「従たる事務所」の登記について
- ⑪ JAしまねいわみ中央福祉センター第1号訪問事業(訪問型サービスA)運営規程の設定について
- ⑫ 理事の個別役員報酬額の決定について

### 報告事項

- ① 米穀園芸情勢について
- ② 畜産情勢について
- ③ 平成29年度第2四半期の余裕金運用計画および運用方針について
- ④ 組合と理事との取引(契約)の報告について
- ⑤ 農林水産省・島根県検査受検について
- ⑥ 平成29年5月末月次決算報告について
- ⑦ JA財務モニタリングにかかる経営管理資料について
- ⑧ 夏季一時金要求書の提出について
- その他① 農政をめぐる情勢について
- その他② 青年・女性理事活動報告等

## Q&A 第3回通常総代会で出された意見についてピックアップしてご紹介します。

### ●質問

業績還元を期待していたが、0.5%の出資配当増による対応で、換算すると減額である。業績還元の再検討、上乘せを要望する。

### ●回答

業績還元を織り込むと、事業利益がマイナスの計画となるため、出資配当による還元でご理解を願います。ただし、上期で業績を検討し、業績還元や農業振興支援事業の追加ができるよう、最善の努力をします。

### ●質問

内部監査やコンプライアンス遵守にも取り組まれたと思うが、残念ながら不祥事が発生した。内部監査の機能について伺いたい。

### ●回答

本店に副組合長直轄の監査部を設置して、子会社を含め無通告や棚卸立会等の監査を実施してきましたが、今回発見できずお詫びします。内部監査の改善策をまとめ強化を図るとともに、関係部署との連携を更に強化して再発防止、未然防止に全力を挙げて取り組みます。

### ●質問

政府は、平成30年度から転作を廃止するとしているが、JAとしての対策はどうか。

### ●回答

生産調整の30年問題は、県の再生協議会のあり方や役割の問題、需給に合った生産の必要性、収入保険の問題等、色々な視点から検討します。

### ●質問

米の買取価格について、いつ発表するのか。ふるい目1.9mmにかかる価格対応はどうか。

### ●回答

29年産の米の買取価格は、精度の高い買取価格とするためにも、全国の作柄状況や在庫状況、需給動向を判断しながら、8月の理事会で決定したいと考えています。ふるい目も同様です。

### ●質問

若い新規就農者等が島根において農業で成り立つような仕組みをつくっていただきたい。

### ●回答

行政の支援に加え、JAでも農業振興支援事業による支援等を行っています。関係機関と連携をとりながら育成支援をすすめます。

### ●質問

最近、災害でハウス等の倒壊がたくさんあった。是非建更のような、ハウスの災害保険も設置してほしい。

### ●回答

農業施設や農業関係に対する共済商品の開発については、共済連の県本部、全国本部に、早急な検討と着手を申し入れ、検討してもらっています。

### ●質問

農業のイメージアップのためにも、女性農業者目線のカラフルな作業服やUVカットの付いた作業服等をJAで取り扱ってほしい。

### ●回答

要望として受け、検討をすすめます。





総合ポイント対象旅行  
JALしまね 総合ポイントカード  
の各旅行は、本ポイント  
付与対象の商品となります。  
JALしまね 総合ポイントカード  
JALしまね 総合ポイントカード

# 九州の名勝 世界遺産巡りと名湯 霧島・指宿温泉 3日間

旅行出発日 平成29年 9月 20日(水)・24日(日)

この広告を見たと言え、早期申込割引として(通常7月末まで)  
お1人様あたり **5,000円(税込)**割引を8月末まで延長!!

旅行代金 大人お1人様、2~3名様一室利用、指定配車場所起点(税込)

**99,800円**



イメージ

日本三大車窓の観光列車「いさぶろう号」に乗車

コース表	◎入場観光	○下車観光(施設には入りません)	△車窓観光	食事
1	島根県各地(指定配車場所) — 広島駅(11:46) — 九州新幹線「みずほ」(各列車指定席) — 鹿児島中央駅(14:14) — 西郷隆盛生誕の地 — 6世紀に造られ荘厳な雰囲気の名湯霧島温泉(17:30) 露天風呂有			井
2	ホテル(8:00) — 熊本県唯一の国宝 青井阿蘇神社 — 球磨川沿いの人吉駅(10:08) — 日本三大車窓とループ・スイッチバックを体験できる観光列車「いさぶろう号」(普通車指定席)に乗車 — 吉松駅(11:22) — 薩摩焼酎工場で見学と試飲・ショッピング — 特攻隊員の遺品や資料を展示 知覧特攻平和会館・三角兵舎 — 広大な知覧茶畑 — 薩摩富士△開聞岳 — 名湯指宿温泉(17:20) ホテル前後、錦江湾の浜にある錦江湾を望む絶景露天風呂有 天然砂むし温泉			朝 昼 夕
3	ホテル(8:00) — JR本州最南端の駅 西大田駅 — 大うなぎで名高い池田湖 — 世界遺産 旧集成館の仙巖園と産業遺産を展示した 尚古集成館 — 西南戦争で戦死した西郷隆盛と薩摩藩兵が眠る 南洲墓地と資料館 西郷南洲顕彰館 — 西郷隆盛終焉の地城山の 西郷洞窟 — 桜島を真正面に望む 城山公園 — 鹿児島中央駅(14:35) — 九州新幹線「みずほ」(各列車指定席) — 広島駅(17:01) — 島根県各地(指定配車場所)			朝 昼 夕

掲載のツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。

※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しております!お気軽に最寄りのJA旅行センターへご請求ください!

4tour 株式会社 農協観光

- JALしまねくにびき旅行センター ☎0852-55-3041 JALしまね出雲旅行センター ☎0853-21-3305 JALしまね島根おちろ旅行センター ☎0855-83-0008  
 JALしまねやすぎ旅行センター ☎0854-28-6699 JALしまね斐川旅行センター ☎0853-73-9625 JALしまねいわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820  
 JALしまね雲南旅行センター ☎0854-42-9118 JALしまね石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501 JALしまね西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587

## JALしまね総合ポイントカード 「おさいふカードポイント」 有効期限のお知らせ

平成27年に付与された「おさいふカードポイント」の

有効期限は **平成29年12月31日** となっております。

対象となるポイントは、店頭端末、支店窓口等にてご確認ください。



ラピタなどでの  
お買い物代金として  
1ポイント1円  
ご利用いただけます



JA店舗・Aコープなどで使える、  
お買物券と交換していただけます

カタログ商品と交換していただけます  
カタログはJA各支店にご用意しております

ポイントをご確認いただき、早めのご利用をお願いいたします。

## おさいふカードの 磁気破損にご注意ください

おさいふカードの磁気破損による、カードの読み取り不良が発生しています。カードの磁気ストライプは、他の磁気に非常に弱く、保管や使用状態によって破損してしまう場合があります。お取扱いには十分ご注意ください。

Ⓢ ご注意いただきたいこと Ⓢ

- 磁気を帯びたものに近づけない
- 携帯電話・スマートフォン・パソコン・テレビ
- ラジオ・スピーカー等電子機器
- ハンドバッグや財布の磁石式留め金具
- 磁気を帯びているアクセサリ (ネックレス・ブレスレット等)

折り曲げたり、傷をつけたり、汚したりしない

水に濡らさない

車内等、高温の環境に放置しない

JALしまね 総合ポイントカード 全般のお問い合わせ

おさいふオーナー ☎0120-031-207



ラピタの  
**ランドセル**

2018新作  
ランドセル  
入荷中!!



セイバン  
新作 天使のまね  
**20%OFF**

旧モデル **50%OFF** 数に限りがあります。お急ぎ下さい。

ラピタ本店 2階衣料品コーナー TEL 0853-21-6061

**赤梨の収穫体験ツアー  
ご招待キャンペーン**

抽選で  
**ペア10組20名様ご招待!!**

実施日 9月中旬～下旬  
収穫場所 神門地区周辺の梨畑

応募期間  
**8月19日(土)～31日(木)まで**

参加対象  
小学生6年生までのお子様と保護者の方2名様

応募方法  
上記期間中におさいふカードを提示してお買物をしていただき、2,000円以上(複数枚でも可)のレシートを店内備付の応募箱にご投函ください。  
※詳しくは店頭にて

ラピタ本店生活用品課より

**シロアリ 無料 調査実施中!!**

床下のシロアリ無料調査に  
お伺い致します。  
お気軽にお申し込み下さい。

シロアリは気付かないうちに住みついている  
かも。早めの防除があなたの家を守ります。



**JAのハチの駆除**

ハチのシーズンになります。ハチは近寄らず、触らず!!  
最寄りのJA各支店に連絡下さい。ハチの駆除はプロに  
お任せください!!



お問い合わせ先

出雲地区本部 ラピタ本店生活用品課  
**TEL:0853-21-6083**

取扱業者

株式会社 **コタマサイエンス**  
■本社/松江市西塚島2丁目8-23 ☎0852-43-0852  
■松江営業所/☎0852-26-6757

(公社)日本しろあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)



旬の味

# 二十世紀梨

**全国発送承ります**

**送料 全国一律 1箱**

**300円** (税込)

※ラピタにてご注文された梨(進物用)に限らせていただきます。  
 ※お届けの期日は指定できませんのでご了承ください。  
 ※クロネコヤマトでの発送となります。

お届け期間	8月下旬頃～ 9月下旬頃	承り期間	ご注文日	8月19日(土)ごろまで	8月20日(日)～初出荷まで	9月1日(金)以降
			お届け目安	初出荷より 随時発送	9月5日(火)頃の 発送	9月10日(日)前後の 発送

※承り順に発送して参りますが、産地での梨の生育状況、サイズ、重量により発送が前後する場合があります。(期日の指定はできませんのでご了承ください。)

お申し込みはラピタ本店・各店で

**SUMMER PLAN 2017**  
 フリードリンク  
 (期間) 平成29年9月30日(土)まで

**プラン内容**

- ★乾杯用ドリンク(ワイン又は日本酒) サービス
- ★飲み放題 / 乾杯より2時間
- ★会場費・サービス料込み

**飲み放題(メニュー)**

- ビール ●ノンアルコールビール
- 日本酒(熱燗) ●焼酎
- ジュース ●ウーロン茶

**グラス 200円 飲み物グレードアップ** ●ワイン(赤・白) ●梅酒 ●カクテル ●ノンアルコール

**オードブル 税込価格 6,000円/1名**

**バイキング 税込価格 5,500円/1名**  
 30名様以上にて承ります

※写真はイメージです。  
 ・人数変更は、前日の午前中までとさせていただきます。・プランに含まない物には、全て別途サービス料10%を申し受けます。・21:00を越える場合は、別途延長料金を申し受けます。  
 ・無料送迎バスは、ご乗車15名様～25名様で先着順に承ります。(送迎範囲は出張市内で出発・到着、それぞれ1ヶ所にてお願い致します。)

お問合せ 予約 TEL (0853) 21-6063

毎日営業致します!!  
**ラピタバアガーデン**

うれしい低価格!!

通常料金

- 男性 **3,300円**
- 女性 **2,800円**
- 中学生以下 20歳未満 **2,000円**
- 小学生 **1,500円**
- 幼児 (3歳～6歳) **500円**

営業時間  
 PM5:30～PM9:00まで

会場  
 ラピタ本店屋上

**ご予約承ります 5名様以上**

ご予約・お問合せフロント  
**TEL:0853-21-6063**  
 (お問合せ時間 AM9:30～PM8:00)



# しまねうれしぴ

料理研究家 土井小百合

## フルーツポンチ



夏休み子どもさんと楽しく団子をごねて、すいかのくりぬぎをしてみてください。楽しい夏休みになりますよ。余ったお盆団子を使ってもいいです。団子の粉に水の代わりに豆腐を入れて混ぜています。抹茶を混ぜて色違いの団子を作るのもいいですね。夏バテしやすい時期に、しっかりあやつで栄養が取れます。

### ●材料（4人分）

だんご	すいか小玉	1/2個
〔 だんごの粉…………… 200g	もも缶詰…………… 1/3缶	
絹ごし豆腐…………… 240g	みかん缶…………… 1/3缶	
シロップ	りんご…………… 1/4個	
〔 水…………… 80cc	ブルーベリー、いちご、メロン	
砂糖…………… 24g	など好きな果物	

### ●作り方

- ①鍋に水、砂糖を入れて沸騰させてから冷やし、シロップを作る。
- ②ボウルにだんごの粉、豆腐を入れてこね、一口大に丸める。
- ③沸騰した湯に入れゆで、浮き上がったならさらに2分ゆで、水にとる。
- ④果物を食べやすい大きさに切る。(レモン汁を少しかけると色が変わらない)
- ⑤スイカの中身をくりぬぎ器にし、果物、団子を入れ冷やしたシロップをかける。(好みであんを乗せてもおいしい)

## JAバンクをご利用のお客さまへ

ATMなどのサービスを一時休止させていただきます。

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。  
このたびJAバンクの全国統一電算システムの更改にともない、誠に勝手ながらATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。  
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

9月16日(土)・17日(日)

現金のお引き出しはお早めに

休止期間中は現金のお引き出しができませんので、あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。

※JA・店舗・ATM・提携金融機関によっては、ご利用可能日、ご利用可能時間およびご利用可能サービスが異なるため、上記スケジュール以外にもサービスをご利用いただけない場合がございます。詳しくは、JA窓口・ホームページ等でご確認ください。

JAバンク  
ホームページ

<http://www.jabank.org/>

## JA共済からのお知らせ

『共済金を使って自己負担0円でリフォームできます』  
組合員・利用者宅に県外の見慣れない業者からこのような触れ込みでアプローチがあり、JAへご相談をいただく事例が発生しています。  
もしもこのような電話や訪問を受けた場合は、最寄りのJA各支店へお知らせください。



### 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなのおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、毎年8月14日から17日にかけて安来市で行われる「月の輪神事」です。約1300年前の「出雲風土記」に記されている「毘売崎(ひめさき) 伝承」が起源とされ、現在の形になったのは約350年前と言われています。山車を先頭に笛や太鼓を演奏しながら練り歩く行列が見所です。

### 編集後記

6月下旬から7月にかけて全国各地で水害が発生しました。県内でも多くの被害が確認されており、私が暮らす松江市内でも床上浸水などがありました。水害と言えば、私には昭和58年のものが思い出されます。被害にあわれた方にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。(藤)

### 【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

